

令和8年度「学びの多様性を活かした教育プログラム開発事業」
発達障害者理解のための基礎研修会 実施要項

1 目 的

発達障害児・者を支援するために必要な基礎知識とスキル（以下参照）を、基礎的講義及びワークショップによって学ぶ。

基礎的知識とスキル

- ① 発達の偏りによる行動特性の理解（ADHD、ASD、LD、重複障害など）
- ② 成長段階におけるつまずきの理解（学習面・社会生活面）と学校、家庭での支援の在り方
- ③ 特性を活かした就労への支援の在り方

2 主 催 宮城県教育委員会

3 対 象

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員（仙台市立及び国立、私立の小学校、中学校、高等学校を除く。）

- ・ 原則、全日程（4日間）を参加することとし、50名を定員として受講者を募集する。
- ・ ただし、空きがある場合は、学習関係2日間、ソーシャルスキル関係2日間、のみの参加も可能とする。
- ・ 特別支援教育の担当教員（特別支援学級担任、通級指導担当者、特別支援教育コーディネーター、特別支援学校教員等）に限らず、通常の学校の学級担任、生徒指導やいじめ・不登校担当教員等も受講を対象とする。
- ・ 前年度本研修会を受講済みの教員の再受講を可とする。ただし、初めて受講する教員を優先するため、申込期間を下記のとおりとする。
 - <初めて受講する方> 令和8年6月17日(水)～7月1日(水)
 - <再受講する方> 令和8年6月24日(水)～7月8日(水)

4 期日と主な研修内容

【1日目】令和8年7月30日（木） 午前9時30分から午後4時10分まで

- ・ 発達障害の理解と対応の基礎（脳の機能の理解と、発達段階に応じた対応）
- ・ インクルーシブ教育を進めるためのMI（マルチプルインテリジェンス）とUDL（学びのユニバーサルデザイン）の理解

【2日目】令和8年7月31日（金） 午前9時30分から午後3時40分まで

- ・ 発達障害児・者との関わり方（脳の認知特性を活かした、IEPの立案演習）
- ・ 就労に向けての自己の特性理解とサポートブックの作成演習

【3日目】令和8年8月6日（木） 午前9時30分から午後4時10分まで

- ・ 社会性を育成するためのソーシャルスキルプログラムの組み立て演習①
- ・ インクルーシブ教育を実現するためのソーシャルスキル教育活動（PA）の体験活動①

【4日目】令和8年8月7日（金） 午前9時30分から午後3時40分まで

- ・ アンガーマネジメントの理解と個別・小グループ活動の進め方
- ・ 感情のコントロールが難しい児童生徒に巻き込まれないための教員の対応

5 場 所

宮城県立支援学校岩沼高等学園

住所 〒989-2455 岩沼市北長谷字豊田1-1 電話 0223-25-5332

6 実施方法 4日間の集合研修による講義、演習等

7 日 程

1日目 7月30日(木)

	時 間	内 容
	9:00	《受付》
	9:30	《開会行事》 ① 開会の挨拶 ② 諸連絡
講 義	9:40	1 「発達障害の基礎知識」 講師：早稲田大学 教授 本田 恵子 氏 講師プロフィール：学校心理学専攻。米コロンビア大学院でカウンセリング心理学を学ぶ。いじめ、非行、発達障害などが生じる背景を包括的にとらえ、問題が生じる前の啓発教育、危機介入、問題行動を繰り返す児童・生徒への個別支援プログラムの開発、実践などを行っている。
	12:00	講義内容：発達障害児・者の特性理解と支援の在り方（行動特性、脳機能の発達との関係、学習のつまずきと脳の働きの理解、事例を通じた理解）
		昼食・休憩
演 習	13:00	2 「インクルーシブ教育を進める上でのMIとUDLの理解」 講師：早稲田大学 教授 本田 恵子 氏 講義内容：発達障害のある児童生徒が普通学級で学ぶためには、特性に合わせた環境や学び方が必要になる。同時に、受け入れる学級の児童生徒の多様化した学びにも対応する必要がある。MI（マルチプルインテリジェンス）とUDL（学びのユニバーサルデザイン）を組み合わせた授業展開について実践例を紹介しながら、児童生徒が自主的に学ぶために、学校がどう変わるとよいのかを検討していく。
	16:10	
		《諸連絡》

2日目 7月31日(金)

	時 間	内 容
	9 : 1 0	《受付》
	9 : 3 0	事務連絡等
講 義 と 演 習	9 : 4 0	3 「発達障害児・者との関わり方：I E P立案」 講師：早稲田大学 教授 本田 恵子 氏 早稲田T Aスタッフ 講義内容：発達障害児・者の見立て（アセスメント）について事例を基に学ぶ。行動観察、保護者・教員からの困り感の聞き取り、及び発達検査（知能検査、社会性の検査など）の読み取り方、特性にあわせたI E P（個別教育計画）の作成の視点、効果的な環境や教材の選び方等を学ぶ。また障害者権利条約に基づく「合理的配慮」についても学び、本人の力を育成する要素と環境調整など周囲の理解を図る要素を理解していく。
	1 2 : 0 0	演習内容：模擬事例等を用いてI E Pの立案演習を学齢別（幼・小・中・高・特別支援）に行う。 ※ 受講者は検討したい事例を用意して、概要をまとめておいてください。なお、提出や配付を求めるものではありません。
		昼食・休憩
講 義 と 演 習	1 3 : 0 0	4 「実践・事例検討サポートブックの作成」 「事例検討と助言」 講師：早稲田大学 教授 本田 恵子 氏 早稲田T Aスタッフ 講義内容：サポートブックは、学校、職場で適応していくために本人のためにも支援者のためにも有効であることを理解する。
	1 5 : 4 0	演習内容：学校種別に分かれて、担当する児童生徒に対するサポートブックを作成する。また支援をしている発達障害児・者への対応について、不安を抱えている支援者の声を聞き、講師がアドバイスをする時間を作る。
		《諸連絡》

3日目 8月6日 (木)

	時 間	内 容
	9 : 0 0	《受付》
講 義 と 演 習	9 : 3 0	5 「学校・社会生活で役立つソーシャルスキル教育」① 講師：まなび創造アカデミー 理事 鎌田 晴美 氏 代表理事 鎌田 学 氏 早稲田大学 教授 本田 恵子 氏 講義内容：ソーシャルスキルに含まれる要素を理解し、年齢別に獲得しておきたい要素と、獲得できていない場合におけるしがちなトラブルを理解する。 演習内容：午後の実践演習の前にＳＳＴについて学び、学校教育の中で実践する為の基礎を理解する。ＳＳＴを学校教育の中で実践するためのプラン作りについて学び、年間行事や学級活動、授業の中で、「自己理解」「他者理解」「相互理解」を進めるために、学年別、時期別にどのように活動を展開できるかモデルプログラムをもとに理解を深める。また、発達障害のある児童生徒とともに学級づくりをしていくためのインクルーシブ教育についても理解する。
	1 2 : 0 0	
		昼食・休憩
講 義 と 演 習	1 3 : 0 0	6 「ソーシャルスキル教育の実践演習」② 講師：【実践】まなび創造アカデミー 理事 鎌田 晴美 氏 【解説】早稲田大学 教授 本田 恵子 氏 講義・演習内容 ＰＡ（プロジェクトアドベンチャー）を体験学習しながら、「アイスブレイキング」「協力」「対立解消」へとどのようにプログラムを組み立てるのか。不安が高い児童生徒や、衝動性がある児童生徒と楽しく安全に活動するプランも紹介する。また、活動中の「振り返り」のポイントや学校生活にどのように反映していくのかについて、具体的に体験と解説を行う。 ※ 体を動かしての活動が中心になります。動きやすい服装、上履きを用意してください。
	1 6 : 1 0	
		《閉会・諸連絡》

4日目 8月7日 (金)

	時 間	内 容
	9 : 1 0	《受付》
講 義 と 演 習	9 : 3 0	7 「アンガーマネジメントの基礎知識①」 講師：早稲田大学 教授 本田 恵子 氏 早稲田T Aスタッフ 講義内容：発達障害児・者と向き合う中でのアンガーマネジメントを学ぶ。「アンガーとはどういう状態か」「アンガーになりやすい人の感情や考え方の特徴は」「相手がアンガー状態のときに、落ち着いて対応する方法」「本人が感情をコントロールできるようになるためのプログラム」などを概説する。 演習内容：相手をキレさせない声掛けの方法や、衝動的になった場面での効果的な対応方法、トラブルの振り返り方をロールプレイで演習する。
	1 2 : 0 0	
		昼食・休憩
講 義 と 演 習	1 3 : 0 0	8 「アンガーマネジメントの基礎知識②」 講師：早稲田大学 教授 本田 恵子 氏 早稲田T Aスタッフ 講義内容：こだわり、衝動性等で繰り返しキレてしまう児童生徒への、個別・小グループでのアンガーマネジメントのプログラムを紹介する。さらに、いじめの予防のためのアンガーマネジメントプログラムを体験する。
	1 5 : 4 0	
		《閉会・諸連絡》

8 申込み方法

- ・ 下のURL、または右の二次元コードにアクセスし、申込みフォームに必要事項を記入して申し込む。

<https://forms.gle/UMUho2wkMGCNT6cD6>



- ・ 申込期間

初めて受講する方：令和8年6月17日（水）～7月1日（水）

再受講する方：令和8年6月24日（水）～7月8日（水）

※ ただし、申し込みは先着順のため定員に達し次第、受付は終了する。

- ・ 令和4年2月の「『発達障害児・者の支援のための基礎研修』INみやぎ」（後援：宮城県、宮城県教育委員会）、又は前年度の本研修会（令和7年8月実施）を受講した方は、申込みフォームの該当質問項目にその旨を記入してください。
- ・ 受講申込み者の個人情報適正に管理し、本研修の目的のため以外には使用しません。

9 その他

- ・ 昼食は各自で準備してください。
- ・ 3日目（8月6日）は上履きを持参し、動きやすい服装で参加してください。午後は体を動かす演習を行います。また、着替えの時間や場所は設定していません。
- ・ やむを得ない事情により欠席等となる場合は、事前に電話で下記研修会担当指導主事に連絡をしてください。

担 当：宮城県総合教育センター 特別支援教育班 鵜殿 TEL：022-784-3561
